

3/12
(木)

町内の小中学校で卒業式 規模縮小も笑顔で門出

3月12日に小中学校で、24日は小学校で卒業式があり、町内の小学生124人と中学生102人が学び舎をあとにしました。

新型コロナウイルス感染拡大を受け、各校で感染対策が取られ、開催時間の短縮や在校生の出席を見合わせるなど規模を縮小しての実施となりました。

鷹巣小学校(大野憲久校長・205人)では、49人が卒業。政府の休校要請を受けて、3日から休校となり、練習がほとんどできないまま式を迎えました。

大野校長が卒業生一人ひとりに卒業証書を手渡し「毎日を誠実に生き、自分の歩幅に合わせ努力を重ねていけば必ず道は開けます」と激励しました。卒業生全員による門出の言葉では、保護者から温かい拍手が送られていました。卒業生らは久々に友達に会ったこともあり、笑顔が目立った卒業式となりました。



大野校長から卒業証書を授与される卒業生

3/12
(木)

石田政美さんが厚労大臣賞受賞 生活衛生事業で功績

石田政美さん(上揚)が生活衛生の向上発展に尽力された功績が認められ、厚生労働大臣から表彰されました。

この表彰は生活衛生事業の組織活動の推進、衛生措置の改善向上などに顕著な功績があったかたに贈られるものです。

石田さんは、15年にわたり鹿児島県すし商生活衛生同業組合の理事を務め、組合の社会的向上と発展に貢献してきました。

賞を受けた石田さんは「日本伝統の寿司を地域の魚とともにPRしていきたい」と意気込みました。



受賞した石田さん(写真中央)

3/13
(金)

認定こども園さすえで避難訓練 全員無事を目指す

認定こども園しょうがくさすえ(正覚智成園長・61人)では、3月13日に避難訓練がありました。これは、東日本大震災の教訓から同園が毎年行っているもので、巨大地震と大津波が起こった際の避難の手順などを確認しています。

今回は園児・職員ら約80人が参加。地震発生を知らせる放送が入ると、園児たちはすばやく机の下に入り、身を守りました。その後、職員協力のもと園児たちは急いで高台へと避難。避難時間は目標の5分以内を達成しました。

正覚園長は「災害に遭っても全員が無事であることを目指すために、避難訓練に取り組んでいきたい」と、気を引き締めました。



職員に後押しされ高台を目指す園児たち